

平成26年度以降も競争性のない随意契約とならざるを得ないもの

【様式2】

独立行政法人家畜改良センター
平成26年度 第1四半期

契約名称及び内容	契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約締結日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	随意契約によることとした会計規程等の根拠規定及び理由	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	随意契約によらざるを得ない事由	備考
平成26年度長野県有財産(土地)貸貸借 1,016,630㎡	家畜改良センター理事長 佐藤 英明 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原一	平成26年4月1日	長野県知事 長野県長野市大字南長野字幅下692-2	会計規程第53条第1項第1号(家畜改良センター茨城牧場長野支場の事業用地が長野県有地であり、また事業用地として他の適当な用地もないため。)	-	17,502,494	-		5	
土地賃貸借 749,599㎡	家畜改良センター鳥取牧場長 布野 秀隆 鳥取県東伯郡琴浦町大字出上14	平成26年4月1日	大山町 鳥取県西伯郡大山町御来屋328	会計規程第53条第1項第1号(当場で飼養管理している肉用牛の放牧用として鳥取県大山町所有の土地を継続的に借用している。)	-	1,431,079	-		5	

3. 本表は、「公共調達適正化について」(平成18年8月25日付財計第2017号)記3.の記載方法に準じて記載する。

4. 「随意契約によらざるを得ない事由」欄は、可能な限り具体的に記載する。「随意契約によらざるを得ない場合の根拠区分」欄は、別添の「随意契約事由別 類型早見表」の類型区分(1~12)の番号を記載する。その他以下に該当する番号を記載する。

- ・緊急の必要により競争に付することができない場合「13」
- ・競争に付することが不利と認められる場合「14」
- ・秘密の保持が必要とされている場合「15」
- ・競争に付しても入札者がいないとき、又は再度の入札をしても落札者がいない場合「16」
- ・特例政令に相当する規定に該当する場合「17」
- ・国において定める随意契約の限度額を超える契約で、法人の定める限度額を下回る契約については「18」
- ・その他、類型区分に分類できないものについては「19」